July 20, 2009：長野蓼科横谷渓谷

霧降りの滝から王滝まで谷川沿いの、ほとんどが木陰となって続く散策路をたどる中、唯一コンクリートの坂道となったところで新鮮なスジボソヤマキチョウ♂に出会い、横谷峡最初の記録種としてネットにおさめる。やや明るい空間にニワトコの赤い実が目立つのでついついカメラをむける。王滝手前の湿地にコチャバネセセリが多く、ヒメキマダラセセリも緑の葉っぱ上で開翅姿勢をみせてくれる。いま少しチョウタイムがとれるので車に戻って、大門街道との交差部で白樺湖からは遠ざかることになる左奥方面へと走ってみる。勾配をさげて続く広い道が大きく左にカーブするコーナーに東大門林道の入口がみえ、迷わずここに車をとめる。いきなり大きなオレンジが濃いヒョウモンチョウとキタキチョウが飛ぶ。ヒョウモンチョウはすばやく飛び交うため、すぐには種の特定ができないが、ネットインをして初めてメスグロヒョウモンの♂だとわかる。木陰が続く林道奥には2頭でからむようにゆったりと舞うアサギマダラもみえる。路傍のススキの類にはくすんだオレンジ色のセセリチョウが複数頭、追飛翔したり陽だまりの葉っぱ上に羽を広げてとまったりしている。ヒメキマダラセセリだ。適当なカメラアングルを探してシャッターを切る。いきなり紅色がきれいなイカリモンガもあらわれる。蛾のなかまでは羽をぴったりと閉じてとまる特異な存在だ。

July 24, 2009：伊吹山

山頂近くのシロツメクサを2頭のコチャバネセセリだとみえるセセリチョウが訪れており、やがてそのうちの1頭が夢中で蜜を吸う個体にじゃれつくような飛翔を繰り返す。どうやら求愛行動のようで、その様子をじっくりビデオ撮影する。このセセリチョウはあとでスロー再生をしてはじめて、どうやらヒメキマダラセセリだったようだとわかるが、セセリチョウのなかまは種の同定がとてもむずかしい。

Copyright© 2009- Soft House JUMP. All rights reserved.